

■コメント

1. インフルエンザ

定点当り8.56人と、前週の2.5倍に増加しています。10月に入ってから急増しており、注意レベル(定点当り10.0人)に近づいていますので注意が必要です。広島市衛生研究所の検査結果から、ほとんどは新型インフルエンザと考えられます。年齢別では、第41週に報告された308人のうち、10～14歳が149人(48%)、5～9歳が89人(29%)と、小中学生を中心とした年齢層が多くなっています。

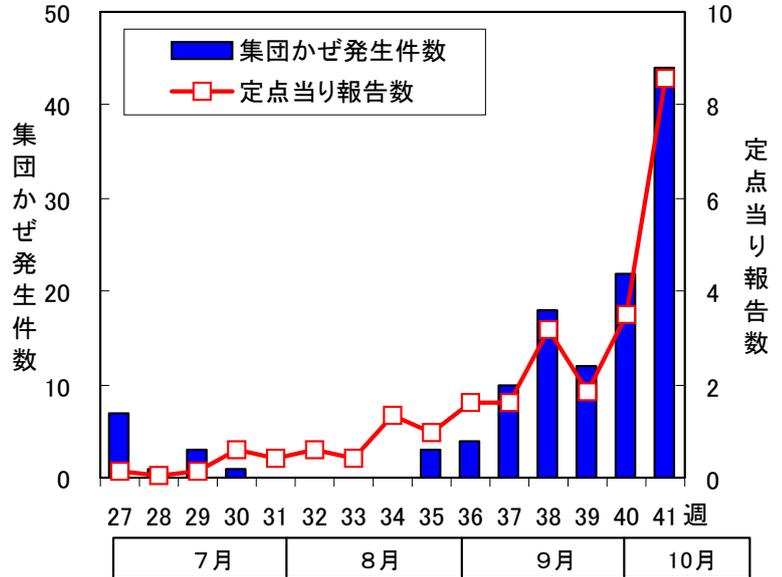
また、新型インフルエンザによるとみられる休校・学年及び学級閉鎖等も、44件と前週の22件から倍増しました。

2. 麻しん

第41週に1件の報告があり(16歳・ワクチン接種1回)、今年の累計は5件となっています。

昨年と比べるとかなり少なくなっていますが、麻しんウイルスの感染力は非常に強く、1人の患者から集団感染を引き起こすことも多く注意が必要です。

インフルエンザの定点当り報告数と集団かぜ発生件数



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	308	8.56	0.01	↑	ヘルパンギーナ	2	0.09	0.14	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.14		流行性耳下腺炎	27	1.17	0.59	⇨
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	0.61	0.70		RSウイルス感染症	1	0.04	0.07	
感染性胃腸炎	74	3.22	4.65	⇨	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	14	0.61	0.69	⇩	流行性角結膜炎	7	0.88	1.03	
手足口病	2	0.09	0.17		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	0.14		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.14	
突発性発しん	16	0.70	0.67		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.63	
百日咳	6	0.26	0.02		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ⇨ ⇩ 前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減

微増減 ⇨ ⇩ 前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況(新型インフルエンザを除く)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	7	163	男性(20歳代)・1人、女性(30歳代)・1人、男性(30歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
5	麻しん	1	5	男性(10歳代)

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
		第37週	59	5	11	89	10	19	-	19	10	38	22	-	2	18	-	-	-	3
第38週	118	4	15	70	10	7	-	12	3	17	25	6	1	15	-	-	-	4	-	
第39週	68	2	5	51	12	3	1	16	7	4	18	5	-	15	-	-	1	2	-	
第40週	129	3	13	58	28	4	-	9	5	5	27	3	-	12	-	-	-	-	-	
第41週	308	3	14	74	14	2	-	16	6	2	27	1	-	7	-	-	2	2	-	
定点当り	広島市	第37週	1.59	0.21	0.46	3.71	0.42	0.79	-	0.79	0.42	1.58	0.92	-	0.25	2.25	-	-	0.43	-
		第38週	3.19	0.17	0.63	2.92	0.42	0.29	-	0.50	0.13	0.71	1.04	0.25	0.13	1.88	-	-	0.57	-
		第39週	1.84	0.08	0.21	2.13	0.50	0.13	0.04	0.67	0.29	0.17	0.75	0.21	-	1.88	-	0.14	0.29	-
		第40週	3.49	0.13	0.54	2.42	1.17	0.17	-	0.38	0.21	0.21	1.13	0.13	-	1.50	-	-	-	-
		第41週	8.56	0.13	0.61	3.22	0.61	0.09	-	0.70	0.26	0.09	1.17	0.04	-	0.88	-	-	0.29	0.29
全国	第39週	4.25	0.06	0.38	1.76	0.44	0.40	0.04	0.40	0.02	0.30	0.54	0.10	0.01	0.34	0.02	0.02	0.02	0.25	0.02
	第40週	6.40	0.08	0.65	2.36	0.54	0.43	0.05	0.60	0.03	0.34	0.73	0.11	0.01	0.46	0.02	0.04	0.30	0.02	

## ■ 新たに判明した病原体検出状況(新型インフルエンザの検査結果は下表のとおり)

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	2	男	2009/09/01	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB2型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/09/06	糞便	コクサッキーウイルスA9型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/09/02	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## ■ 広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

### 第41週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
病原体サーベイランス	3	7	2						12
入院サーベイランス	2	3							5
その他									
合計	5	10	2						17

### 2009年累計(7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
病原体サーベイランス	17	44	11	1				1	74
入院サーベイランス	4	5		2					11
その他	3	5	3						11
合計	24	54	14	3				1	96

- すべて広島市衛生研究所のPCR検査による確定例です。
- 病原体サーベイランスは、病原体定点において原則ランダムにインフルエンザ様疾患の患者の検体を検査するものです。
- 入院サーベイランスは、新型インフルエンザによる重症者の発生動向を把握するなどの目的で、入院患者の検体を検査するものです。
- 病原体サーベイランスの患者で入院した場合は、入院サーベイランスに計上します。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2009年第41週(10月5日~10月11日)